

ASIAGAP 指導員基礎差分研修の概要

ASIAGAP 指導員基礎差分研修の目的

研修の目的は以下の3点です。

- ⑤ 「ASIAGAP 総合規則 2017」と「JGAP 総合規則 2017」の違いを理解する。
- ⑥ 「ASIAGAP Ver.2.2」と「JGAP 2016」の管理点、適合基準の違いを理解する。
- ⑦ ASIAGAP 指導員の資格をとる。

※本研修は JGAP 指導員、JGAP 上級指導員の方受講可能です。

ASIAGAP 指導員基礎差分研修<青果・穀物・茶>内容

研修内容は以下の通りです。

- ・ ASIAGAP 管理点と適合基準の変更点
 - 「GFSI」について
 - HACCP、CODEX-HACCP について
 - リスク評価の考え方
- ・ ASIAGAP 基準文書の解説
 - A.経営の基本(管理点 1～10)
 - B. 経営資源の管理(管理点 11～22)
 - C. 栽培工程における共通管理(管理点 23～25)
 - D. スプラウト専門項目
 - E. きのこと類専用項目
- ・ ASIAGAP 総合規則
 - 審査・認証について
 - 審査のタイミング、種類、有効期限、申込方法等
 - 消費者向け ASIAGAP マークの表示
- ・ 質疑応答
- ・ 受講者アンケートの回収

試験および修了合格の基準

ASIAGAP 指導員基礎差分研修には試験はありません。合格基準は以下の通りです。

- ・研修期間中の出席時間が全体の90%を超えていること

合否の発表、再受講、再試験について

- ・合格した受講者には研修終了後に修了証をお渡しいたします。また、後日、日本 GAP 協会より指導員カードが送付されます。
- ・研修期間中の出席時間が90%に満たない受講者は、12か月以内に1度だけ再受講することができます。再受講しても条件を満たせない場合には、修了証を送付いたします。